

99-151

問題文

生体内情報伝達をつかさどる受容体に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 細胞膜受容体には、Gタンパク質共役型、イオンチャネル内蔵型及び1回膜貫通型がある。
2. 神経筋接合部に存在するニコチン性アセチルコリン受容体は、Gタンパク質共役型である。
3. 血管内皮増殖因子(VEGF)受容体は、1回膜貫通型である。
4. 心房性ナトリウム利尿ペプチド(ANP)受容体は、イオンチャネル内蔵型である。
5. サイトカイン受容体は、核内に存在する。

解答

1, 3

解説

選択肢 1 は、正しい記述です。

1 回膜貫通型とは、チロシンキナーゼ関連受容体などのことです。

選択肢 2 ですが

ニコチン性 アセチルコリン受容体（N 受容体）は、イオンチャネル型受容体です。G タンパク質 共役型では、ありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、その通りの記述です。

選択肢 4 ですが

ANP 受容体は、1 回膜貫通型です。イオンチャネル内蔵型では、ありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

サイトカイン受容体は、核内受容体ではありません。細胞表面に存在します。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1,3 です。